



着々と進む計画！

CS通信 第9号

第2回川崎小学校コミュニティ・スクール準備委員会が行われました

9月25日（金）に、川崎小学校で第2回 川崎小学校コミュニティ・スクール準備委員会が開かれました。

- 日時 令和2年9月25日（金） 19時から20時30分
- 場所 川崎小学校 応接室
- 参加者
校長・教頭・現PTA会長・前PTA会長・主任児童委員
民生委員（前スクールサポートスタッフ）・元市内小学校長2名

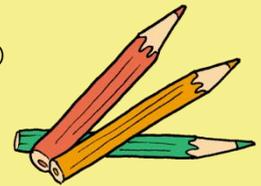


次年度の立ち上げを目指し、かなり高い本気度で協議が行われました。いろいろな立場から、その参加者なりの理想のコミュニティ・スクールが語られる様子は、まるで道のないところに道をつくるようなエネルギーに満ちた雰囲気でした。

榛葉校長先生からは、「ふるさとを愛する心を大切にしたい。いろいろな人から愛され、かわいがっていただくことはふるさとを愛する心につながる。ふるさとを愛する心をもつこと自体が子どもの心の安定に結びつく。そのためには地域との深いつながりが不可欠です。」という話があり、参加者のみなさんもそれに賛同しつつ、それぞれの考えるコミュニティ・スクールについて語りました。

杉山教頭の準備も万端で、以下のような資料が配布されました。

- ①川崎小コミュニティ・スクールが目指すもの
 - ・川崎小の抱える課題・保護者のもつ課題（第1回準備委員会の協議を受けて）
 - ・川崎小コミュニティ・スクールの具体案
 - A 課題解決型の取り組みの具体案（先行地区の資料から）
 - B 未来志向型教育の具体案（川崎小の教員が考えるR3地域学習の案から）
 - 〃 （地域の人のやりがいを生み出す他地区の活動から）
- ②川崎小コミュニティ・スクールの制度・位置づけ・計画
（現在行われているPTAの会合等を生かしつつ、学校運営協議会を設置するためのプラン）



コミュニティ・スクールの立ち上げには、「学校と地域を愛する気持ち」と「遊び心」をもつ人の存在がどうしても必要です。学校運営協議会のメンバーで「こんなふうにしたらみんながうれしいだろうね」という話に花が咲いたらどんなに素敵なことでしょう。川崎小学校は、具体的なイメージをもちながら、これから「誰と」川崎小コミュニティ・スクールを築いていくかを考える段階に入ります。

川崎小にコミュニティ・ルームが出現！

第2回準備委員会の終了後、案内されたのは、和室を改装したばかりのコミュニティ・ルームでした。

今はまだ何も無い四角い空間ですが、これから照明を替えたり、職員との交流を行うためのホワイトボードを設置したりする予定があるそうです。

居場所はとっても大切です。多くの人でにぎわう姿が目に浮かびます。

